

事業番号	10 04 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	治山事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課	
		実施期間	S29 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化					

1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】 県内には山地災害危険地区等の保全対象となっている集落数が3,600集落あり、そのうち、既に対策工等がなされ、概成又は一部概成している集落数は、2,174集落(R3末 整備率:約60%)となっている。最近では、ゲリラ豪雨といわれる短時間に集中的な降雨による山地災害が頻繁に発生していることから、山地災害危険地区を有する集落の保全を図ることが喫緊の課題となっている。
	【目指す姿】 森林の持つ土砂災害防止機能を発揮させるため、適切な間伐や治山施設の整備など、災害に強い森林づくりを目指す。 成果目標:治山事業により新たに保全される集落数 200集落(長野県総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)(H30~R4)整備率 54%(H28) → 61%(R4)
	【実施内容】 荒廃山地等の復旧、整備や保安林の機能を維持強化するための森林整備など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	治山事業により保全される集落数	集落	56	53	↓	45	↓	40	達成
2									
3									
4									
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
前年度繰越額	2,784,407	3,900,712	7,099,329
当初予算額	4,554,297	4,550,439	3,680,855
補正予算額	1,212,177	4,378,633	1,851,148
合計(A)	8,550,881	12,829,784	12,631,332
うち一般財源	174,637	685,788	239,256
決算額(B)	5,239,781	5,730,453	7,676,563
職員数(人)	55.9	56.0	56.0

成果指標及び目標値の設定理由	1.治山事業による施設整備や森林整備により、保全が図られる集落数を成果指標に設定(長野県森林づくり指針目標値)
達成状況の分析	1.治山事業の実施により保全される集落数が増加し、目標を達成した。

主な取組	公共治山事業 ・復旧治山事業、地すべり防止事業、保安林改進黨業、予防治山等の実施により、荒廃山地や地すべり地の復旧、水源地域の荒廃森林の整備や荒廃地の復旧整備、水土保全機能の高度発揮と下流域の漁場環境の保全を図った。 ・災害関連緊急治山事業の実施により、当年度に発生した山地災害発生地の復旧整備を行い、荒廃森林の復旧を図った。	 崩壊地の復旧  森林整備
	県単治山事業 ・県単治山事業の実施により、小規模荒廃地の復旧、応急対策、施設修繕、施設の機能回復等を行った。	
	県単治山事業(森林づくり県民税活用事業) ・家屋、生活道路等に影響があった災害発生地の応急工事や緊急調査、また防災・減災のため緊急に森林整備を実施した。	

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	・山地災害危険地区等の保全対象となっている3,600集落のうち、既に対策工等がなされ、概成又は一部概成している集落数は、R3末で2,174集落(整備率:約60%)であり、引き続き整備を進める必要がある。	・事業成果をPRしていくとともに、計画精度を高め適正な予算確保に努める。

事業名	治山事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	公共治山事業	4,704,130 千円	5,177,974 千円	7,039,705 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	山地治山総合対策事業	直接	山地災害、地すべり等の復旧・軽減及び荒廃森林の機能の復旧を図った。	
2	水源地域等保安林整備事業	直接	水源地域の荒廃森林において、森林の整備と荒廃地の復旧整備を行い、水資源の確保と県土の保全を図った。	
3	農山漁村地域整備治山事業	直接	荒廃山地、荒廃危険地等の山地を復旧整備することにより、水土保持機能の高度発揮と下流域の漁場環境の保全を図った。	
4	災害関連緊急治山事業	直接	再度災害を防止するため、新たに発生あるいは拡大した山地災害の発生源について、緊急に復旧整備を行い、荒廃森林の復旧を図った。	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	県単治山事業	535,651 千円	552,479 千円	600,863 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	林地荒廃(災害復旧)	直接	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事で荒廃地の復旧、応急対策、施設修繕等を実施した。	
2	治山施設修繕	直接	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事で施設修繕等を実施した。	
3	治山施設リフレッシュ事業	直接	土砂流木の除去、ボーリング孔の目詰まりの洗浄等の施設の機能回復を図った。	
4	山地変動モニタリング事業	直接	人工衛星情報を活用した地盤変動のモニタリングを実施した。	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	県単治山事業(森林づくり県民税活用事業)	0 千円	0 千円	35,995 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	防災・減災対策緊急治山事業	直接	家屋、生活道路やライフラインに影響がある災害発生地において応急工事や緊急調査を実施した。また、防災・減災の観点において、二次災害を防止するために緊急に森林整備を実施した。	
2	地すべり防止施設管理サポート事業	直接	地すべりの再発を未然に防止するため、地すべり防止施設を適切に管理した。	